

平成28年度授業改善推進プラン 《美術》西東京市立ひばりが丘中学校

●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<p>領域をバランスよく配置し、多くの表現技法を学ばせることができた。多様な作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じ取る活動を取り入れる。 お互いの良さや美しさ、表現方法などを学びあう活動を取り入れることができた。</p>	<p>じっくりと観察して描く活動や、試行錯誤しながら自分なりの表現を見つけ出すことが弱い傾向がある。膨らませた思いから主体的に取捨選択し、自分ならではの美を自信を持って選択できるよう、多様な価値観に触れる活動を表現・鑑賞両方の面から行う。</p>

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	基本的な技能が身につけていない生徒がみられる。	豊かな発想・構想の能力を、表現活動の喜びに結びつけるために、各領域をバランスよく配置し、表現のための土台となる様々な技法や見方を学ばせる
2年生	一人ひとりが集中し、自分なりの表現を生み出そうとする姿勢はあるが、自己開示し、他者との交流の中から生み出すことに抵抗がある。	お互いの良さや美しさ、表現方法などを学びあう活動を行うため、授業内鑑賞を取り入れ多様な表現を学びとる。
3年生	発想・構想は豊かに行えるが、創造的に効果的に表現する技能が追いつかず、形にならない生徒が見られる。	身近な世界から異なる文化まで幅広く親しみ、よさや美しさを感じ取りし、それぞれの良さ表現する活動を取り入れる。

●学校全体で取り組む内容

<p>じっくりと観察して描く活動や、試行錯誤しながら自分なりの表現を見つけ出すことが弱い傾向がある。 膨らませた思いから主体的に取捨選択し、自分ならではの美を自信を持って選択できるよう、多様な価値観に触れる活動を表現・鑑賞両方の面から行う。 授業内鑑賞を取り入れ、発想・構想や創造的な技能について気付かせる。</p>
--